

一 般 質 問 通 告 書

平成29年3月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手 方
1 野村広志	1 災害復旧に向けた対応について	(1) 近年の異常気象で頻発する豪雨や台風により、県内の農作物や家畜、倉庫やビニールハウス、畜舎などの農業施設が多大な被害に見舞われている。本市においても、昨年の台風16号で被害を受け、現在も復旧されていない箇所が多く見受けられる。そこで、本市の災害復旧の対応について問う。	市 長
	2 国際物流拠点志布志港の更なる活用について	(1) 志布志港では、飼料穀物を中心とする輸入貨物と、輸出貨物の取扱量のアンバランスさは長年の懸案となっている。また、背後地には農作物の生産供給地域を抱え、更に港の役割と責任は重大であると考え。それらを鑑み、今後の志布志港の目指すべき方向性を問う。 (2) 志布志港を活用した農産物の輸出について以前質問したが、その後どのような協議がなされてきたのか。 (3) 志布志港が持つ可能性と更なる活用について、観光客に優しく、市民が身近に感じられる港湾整備の在り方について問う。	市 長 市 長 市 長
2 小野広嗣	1 施政方針について	(1) 健全な財政運営を維持しながら、施策及び事務事業の執行管理能力を最大限に発揮できるような組織体制の構築を目指すため、抜本的な組織機構の見直しに努めるとあるが、その具体的な展望と港湾商工課の志布志支所移転については、どのように考えているのか。 (2) 市道香月線延伸計画に伴い、志布志港から東九州自動車道へのアクセス向上及び地域の活性化に寄与するために、有明町野井倉地内に志布志有明インター（仮称）の本線連結の申請を行い、本格着工するとあるが、今後の具体的な展望を示せ。 (3) 母子保健事業の中で、子育て世代包括支援センター等による妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援ができる体制づくりに取り組むとあるが、子育て支援日本一のまちづくりを目指す本市ならではの特色ある体制を構築すべきではないか。	市 長 市 長 市 長
	2 認知症対策について	(1) 認知症で徘徊する高齢者の早期発見や事故を未然に防ぐ、認知症高齢者の見守り支援のための仕組みづくりについて、各自治体が知恵を絞っているが、本市の現状と課題、今後の対策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年3月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2小野広嗣	3 子どもの貧困対策について	(1) 国は、学校をプラットフォームとした総合的な子どもの貧困対策推進体制の構築を掲げている。本市の子どもの貧困の現状及びこれまでの取り組みと課題、並びに今後の対策について問う。	市 長 教育委員長
3小辻一海	1 人口減少対策の実効性について	(1) 地方創生を進める中、まち・ひと・しごと ころざし創生戦略に掲げた人口目標の達成に向けた取り組みについて問う。 (2) 移住・定住政策の取り組みについて ① これまでの実績と今後の取り組みについて問う。 ② 具体的な情報発信対策について問う。	市 長 市 長
4玉垣大二郎	1 固定資産の名寄せ台帳について	(1) 固定資産の名義人（所有者）が、共有持ち分となっている場合の、問い合わせ等に対する対応について問う。	市 長
	2 観光行政について	(1) J R 志布志駅を核としたまちづくりを進めているが、今後の駅舎本体の整備の在り方を問う。 (2) 新たな駅舎の整備を進めるにあたり、J R九州との協議の状況について問う。	市 長 市 長
	3 教育行政について	(1) 教育は知・徳・体の育みが大きな柱となるが、最近食育の重要性が叫ばれている。本市の食育についての取り組み状況について問う。	教育委員長
5持留忠義	1 公共施設の現状について	(1) 市役所本庁下の多目的広場は、ゲートボールに利用される方も多い。一方で、水はけが悪く利用しにくい面もある。何らかの排水対策はできないか問う。 (2) ゲートボール場として専用施設の整備はできないか問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 畜産振興について	(1) 畜産農家は高齢化に伴い減少傾向にある。肉用牛の生産農家の現状と、今後さらなる支援策は考えられないか問う。 (2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業の実績と効果について問う。	市 長 市 長
	3 交通安全協会に対する取り組みについて	(1) 志布志地区交通安全協会は、県の協会と市からの助成などにより運営を継続してきた。助成額が減少する中、運営が厳しい状況にある。市からの負担金の増額はできないか問う。	市 長
6八代 誠	1 自治会の在り方について	(1) 市内自治会の現状と今後の支援策について問う。	市 長
	2 開田の里公園について	(1) 開田の里公園敷地内にある通称「桜山」の現状と、今後の管理等の在り方について問う。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年3月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手
7 青山 浩二	1 市役所職員の時間外勤務と健康管理について	(1) 昨年度の職員の時間外勤務の実情について問う。 (2) 精神的・身体的なストレス等による病休・休職者の現状について問う。 (3) 平成27年12月からストレスチェック等の検査が義務付けられたが、職員への実施時期・実施方法、またその管理と活用策について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 中学校の部活動の休養日及び指導者体制について	(1) 顧問教員の業務負担軽減策として、文部科学省とスポーツ庁は本年1月に、部活動の休養日を適切に設けるよう求める通知を全国の教育委員会に出したが、本市の中学校部活動の実情を問う。 (2) 業務多忙な顧問教員の、長時間練習の負担に対する考え方と対策について問う。 (3) 学校職員以外の外部指導者の実情を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
8 丸山 一	1 道路行政について	(1) 一丁田・上通山地区から海岸へ通じる里道（旧赤線道路）の一部が造成工事のため通行できない状況にある。現状を調査し、通行可能にする対応はできないか。 (2) 野井倉土地改良区内の3号水路沿いの、有明小・中学校への通学路に設置されている防護柵は、足元が崩落し危険な状態である。今後、速やかに対応を講じる考えはないか問う。	市 長 市 長
	2 市内の石橋の保護について	(1) 近年の豪雨等で、市内の石橋が数箇所流出している。歴史的建造物としての価値もあるので、今後の石橋保護についてどのように考えているか問う。	市 長 教育委員長
9 東 宏二	1 港湾行政について	(1) 志布志港は「国際バルク戦略港湾」として、現在国と県において計画変更の手続きが進められ、平成29年度には予算措置も見込まれている。今後の整備見込みと事業費負担について問う。 (2) 港湾整備が漁業に与える影響はないのか問う。 (3) 観光バースの管理の現状と、今後の対応について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 住宅行政について	(1) 近隣自治体では、移住・定住策として様々な住宅政策を行っている。本市でも若者向けの住宅建設により、人口増につなげる考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年3月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手 方
10鶴迫京子	1 商工・観光行政について	(1) 「まちあるき」観光や、定期的に行われる各種イベント等、またグルメ通りとしても年々にぎわいが創出されている商店街（志布志上町通り）には、駐車場やトイレ、また授乳やオムツ交換などが安心して行える施設等の整備がなされていない。このような現状で、食・グルメや人、自然、文化、歴史など最高のものに触れても、志布志の魅力は半減してしまう。これでは日本一のおもてなしとは言い難い。 ① この現状をどのように捉えているのか。 ② 観光客や消費者等のニーズに応えるためにも、早急に整備を図る考えはないか。	市 長
11小園義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会で、この間に研究された内容と結果を問う。 (2) 本庁舎の位置等について、第2次志布志市総合振興計画案策定の中ではどのように議論されたのか。	市 長 市 長
	2 国民健康保険について	(1) 2018年度から、運営を都道府県に移管されることが決まっているが、保険税等どのように変わるのか。	市 長
	3 福祉行政について	(1) 生活保護を受給している人に対する指導や指示に対する考えを問う。 (2) 生活保護受給者の、転居に対する考えを問う。 (3) 母子生活支援施設の運営について問う。	市 長 市 長 市 長
	4 施政方針について	(1) 総合教育会議等を通して「志の心」を育ててまいりますと述べている。具体的な取り組みを問う。 (2) タブレット導入による行政事務の効率化及びペーパーレス化を検討するとあるが、具体的な取り組みを問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年6月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 政治姿勢について	(1) 本田市政3期12年の最終年度を迎え、これまでの行財政運営の総括と、次期市長選挙（4期目）に対する考えを問う。	市 長
	2 財政運営について	(1) 地方自治体の財務会計制度は専門性が高く、処理方法も複雑で分かりづらいため、市民に財政の状況を分かりやすく情報開示することは、市の重要な責務でもある。そこで、本市の具体的な財政の状況について問う。	市 長
2 西江園 明	1 志布志港内（さんふらわあ発着場前）の若浜運動公園の管理について	(1) 今回、補正予算で計上されている「市民が親しむ港づくり推進事業」の内容を問う。 (2) 公園内にあるソフトボール場の今回の計画を問う。 (3) 来年度以降の管理計画を問う。 (4) 大浜緑地のように将来的に市で引き取り、管理する計画はないか。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 福祉タクシーについて	(1) 福祉タクシーの現状を問う。 (2) 志布志地区、有明地区、松山地区、それぞれの現状を問う。 (3) 以前、協議する場を設けると答弁があったが、その結果を問う。 (4) 先進事例を視察したようだが、感想を問う。 (5) 福祉タクシーも含めた、今後の本市の公共交通計画について問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
3 小野広嗣	1 地方公会計の整備促進について	(1) 本年度は、国が示した統一的な基準による地方公会計の整備促進の完了年度であるが、本市の取り組みの現状と、整備された財務書類を基にした財政状況を、市民に分かりやすく開示するための在り方について問う。	市 長
	2 情報化の推進について	(1) 情報化の推進については、「志布志市情報化基本計画」及び「志布志市情報化実施計画」を、来年度から「志布志市情報化計画」へ一本化する予定となっているが、策定に向けた推進状況について問う。 (2) 各地の地方自治体では、自治体が直面する課題の解決に貢献し、地域住民にとって役立つスマートフォン用のアプリやWEB用アプリを開発し、地方情報、観光、防災、健康、福祉等、便利な情報を住民及び観光客などに提供している。このような自治体用のアプリについての認識を示せ。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年6月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 小野広嗣	3 文化芸術の振興について	(1) 国の文化芸術振興基本法の成立以降、現在、第4次基本方針（2015～2020年度）に沿って施策が展開されている中、自治体の文化芸術施策の根拠となる条例づくりも各地に広まっている。施策の展開にはビジョンとなる柱が必要と考える。本市でも文化芸術振興条例の策定を検討してはどうか。	市 長 教育委員長
	4 読書環境の充実について	(1) 本市では、子供の読書活動を推進するためのキャッチフレーズとして「1日20分読書～いつも身近に1冊の本を～」と掲げているが、その現状と学校等において子供たちの読書意欲を高め、読書活動を積極的に進めるための方策について問う。	教育委員長
4 八代 誠	1 告知放送端末管理事業について	(1) 本市が平成22年度に導入した「地域情報通信基盤整備推進事業」について ① 導入の経緯について問う。 ② 導入時の財源内訳について問う。 ③ 導入完了から現在までの経費について問う。 (2) 行政告知放送端末と防災行政無線戸別受信機の違いについて問う。 (3) 今後の告知放送端末管理事業の個人負担の在り方について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 市内農業者の雇用について	(1) 今年度における一番茶の実績について問う。 (2) 立地企業に対して本市が取り組んでいる「企業立地促進補助金等交付事業」の内容について問う。 (3) 農業者への雇用促進に対する補助制度は検討できないか問う。	市 長 市 長 市 長
5 平野栄作	1 環境行政について	(1) メリケントキンソウについては、平成26年6月に、この植物の生態と市内における繁殖状況について、平成27年9月に、駆除に向けた取り組みの現状と進捗状況についての質問があった。 ① その後、市当局としては駆除した実績をどの程度と見ているか。 ② 駆除に成功した場所、繁殖が拡大した場所があると思うが、その認識を問う。 ③ 関係団体との駆除に対する連携は構築されているのか。 ④ 2019年撲滅を早い段階で宣言したが、今後のタイムスケジュールについて問う。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年6月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手
5 平野 栄作	2 有害鳥獣対策について	(1) 有害鳥獣への対策は、自己防衛策に加えて公的側面の捕獲作業を組み合わせることが重要だと考える。 ① 市内における被害発生箇所等のマップを作成し、周知等に活用する考えはないか。 ② 捕獲等を推進するために、他組織との連携や、人材の育成を図る考えはないか。	市 長
	3 公民館活動について	(1) 校区公民館の運営については、自治会加入率等による構成員数や高齢化の進展状況等、地区により活動内容に大きく差が生じてきていると感じるが、全体的な活性化に向けての対応が必要であると考え。 ① 今後、どのような活性化策を検討しているのか。 ② 公民館長の充て職の改善は考えられないか。 ③ 校区公民館の構成員の減少は、コミュニティの欠如につながると思うが、市としてのバックアップ体制をどう考えているのか。	市 長 教育委員長
6 丸山 一	1 農道整備について	(1) 通山地区のコスモス祭りは、スタートから12年経って広域的に知られるようになり、来場者も2千人を超え、喜ばしい限りである。しかし、駐車場の不足や渋滞の対応など、周辺の整備が必要となっている。その対応策は考えられないか問う。	市 長
	2 道路行政について	(1) 県営ラフォーレ松原団地横の市道は、雨が降るとたびに30cm程冠水している。安楽川方面への排水対策はできないか問う。	市 長
	3 鳥獣被害対策について	(1) 本市の鳥獣被害は増加傾向にあり、農家にとっては死活問題となっている。このことについて昨年9月議会で3人が一般質問したが、その後の対応と効果は上がったのか問う。	市 長
7 市ヶ谷 孝	1 婚活事業について	(1) 人口減少社会の中、婚姻率も減少傾向をたどっているが、婚活事業はその対策の一つとして年々重みを増している。行政に限らず、市内で行われている関連事業について、情報の集約と発信をより効率的・効果的に行い、事業効果を更に高めていく考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年6月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7市ヶ谷 孝	2 自殺予防対策について	(1) 若者の自殺率の増加傾向は近年大きな社会問題として取りざたされているが、本市における現状と対策はどのようになっているか。	市 長
		(2) 5月15日に「新たな自殺総合対策大綱の在り方に関する検討会」が取りまとめた報告書では、若者の自殺対策を重視するとともに、地域の実情に応じた細かな施策を実施していくことが挙げられている。厚生労働省が5月30日に公表した「平成29年度版自殺対策白書」の内容とあわせて、今後、市としてどのように対応していくのか問う。	市 長
8小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会の取り組み状況について問う。	市 長
		(2) 市長の退職手当は見直しをすべきと思うが考えを問う。	市 長
	2 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 安心して働ける環境づくりをすべきと思うがどうか。	市 長 教育委員長
		(2) 市長部局以外の職場についての考え方を問う。	市 長 教育委員長
3 保健行政について	(1) 在宅寝たきり老人等介護手当支給事業の見直しは考えられないか。	市 長	
	(2) 介護保険で実施している家族介護用品支給事業について問う。	市 長	
4 福祉行政について	(1) 敬老祝金を75歳以上の全ての人に支給するように見直す考えはないか。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月 定 例 会 (N o . 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 教育行政について	<p>(1) 市内高等学校支援事業において、様々な支援を行っている中、バス運行事業者よりスクールバスの減便が通達されたと聞く。そこで、その経緯と影響等及び対応策について問う。</p> <p>(2) 学習指導要領の改訂に伴い、子供たちの学び方が大きく変わろうとしている。そこで、今後の本市の子供たちに必要とされる学び方について問う。</p> <p>(3) かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例の制定がなされ、10月1日に施行されるが、本市の現状と啓発の在り方について問う。</p> <p>(4) 子供たちを取り巻く環境の中で、家庭の日、青少年育成の日、育児の日等が設置されているが、本市においての取り組み方と考え方について問う。</p> <p>(5) 想定外の大規模災害が発生する可能性を考えた場合に、あらゆる観点からの防災教育の在り方については、充実を図る必要があると思う。そこで、役割を担うべき子供たちの人材育成を積極的に推進していく考えはないか問う。</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p> <p>教育委員長</p> <p>教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p>
2 小野広嗣	1 防災対策について	<p>(1) 7月の九州北部豪雨により甚大な被害が発生したが、その後も、これまでの常識をはるかに超えるような集中豪雨によって災害が起きている。今後、同じような災害の発生が予測される中、想定外を排した従来の経験や発想にとらわれない、きめ細かな防災対策が急務ではないか。</p>	<p>市 長</p>
	2 ふるさと納税について	<p>(1) ふるさと納税の獲得競争で返礼品の豪華さを競う傾向が激化しており、総務省は返礼割合と内容の見直しを求めているが、これに対する本市の基本的な考え方と今後のふるさと納税制度への戦略について示せ。</p>	<p>市 長</p>
	3 マイナンバー制度について	<p>(1) マイナンバー制度を行政事務にフル活用することで、住民の利便性や行政事務の効率が高まると思うが、本市の取り組み状況について示せ。</p> <p>(2) マイナポータルは、子育ての分野から秋の本格運用を目指し、本年7月から試行運用がスタートしている。活用するには地方自治体での手続きが必要となるが、本市の対応状況と今後の取り組みについて示せ。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月 定 例 会 (N o . 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野広嗣	4 教育行政について	(1) 施政方針には、「地域とともにある学校づくりを目指し、コミュニティ・スクールの導入に加えて、小中連携を更に発展させ、義務教育9年間を通して地域ぐるみで子供を育てていく小中一貫教育の推進に着手する」とあるが、その推進状況を示せ。	市 長 教育委員長
3 青山浩二	1 男女共同参画社会の実現について	(1) 男女共同参画社会の推進のためには、先進的に市役所内での女性管理職の登用を積極的にすべきだと思うが、市長の考え方を問う。 (2) 女性活躍推進法に基づき、どのような計画を策定し、女性の活躍をどう推進していく考えなのか問う。 (3) 男性職員の育児休業の取得状況について問う。 (4) 市内の小中学校における、女性管理職の現状について問う。 (5) 道徳の教科化が、小学校では平成30年4月から、中学校では平成31年4月から開始される。男女共同参画社会の観点からなる男女平等教育について、どのようなことを実践しているのか問う。 (6) 男女混合名簿について考え方を問う。	市 長 市 長 市 長 教育委員長 教育委員長 教育委員長
	2 県立志布志高等学校への支援について	(1) スクールバスの利用者減少に伴い、現在の便数維持が困難であるため、運行事業所による運行見直し(便数の減)が平成29年9月から実施された。見直し前の便数へ復帰するための支援はできないか問う。	市 長 教育委員長
4 長岡耕二	1 道路の維持管理について	(1) 平成29年度道路愛護に関する県知事表彰を受けた自治会があるが、受賞に至る経緯などを市民へ周知して、市全体に取り組みを広げる考えはないか問う。 (2) 県道及び市道の維持管理について ① 潤ヶ野小学校付近の歩道の管理状況について問う。 ② 県道今別府串間線の一部で4 t以上の車両通行止めが1年以上続いているが、このように長期に渡る要因と現状、さらに今後の見通しについて問う。 (3) 今後の道路維持管理の在り方について問う。	市 長 市 長 市 長
		5 小辻一海	1 道路行政について

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
		(2) 国道220号線外岩戸ガソリンスタンド前への、歩道と信号機設置の進捗状況について問う。 (3) 県道3号日南志布志線、県道65号南之郷志布志線及び市道の維持管理状況について問う。	市 長 市 長
	2 環境行政について	(1) 生物多様性基本法第13条で、「生物多様性地域戦略」を定めるよう規定され、2020年度までに策定するとされたが、現在の取り組み状況について問う。	市 長
	3 職員業務の在り方について	(1) 職員による自治会使送業務の改善について問う。	市 長
6 平野栄作	1 防災対策について	(1) 熊本地震による被災状況及び民間レベルでの避難所運営等について、発生後の平成28年6月に会派での視察を行い、更に平成29年1月に復興状況等についても再度視察を行った。視察を通じて、今後発生が危惧される地震等に対する課題や、本市の取り組みを更に充実する必要性を感じたことから、以下の点について問う。 ① これまでも防災意識向上を図るべきといった質問があったが、具体的にどのような箇所が強化されてきたのか。また、市民の防災意識の高まりをどう認識しているか。 ② 避難看板及び階段等の設置が進められているが、目標に対しての達成率はどの程度か。また、今後どう推進していく考えか。 ③ 津波や山林崩壊等により、家屋の損傷に伴う災害ごみの処分及び仮設住宅建設用地の確保が必要となるが、その対応策は検討されているのか。 ④ 防災計画上、避難所はあらかじめ指定されているが、開設から運営までを任せられる人的な育成を図る必要はないのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月 定 例 会 (N o . 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 平野 栄作	2 ESCO事業の導入について	<p>(1) 議会で開催した「市民と語る会」でも要望があったが、街路灯（防犯灯）の新規設置及び維持管理について、合併後10年が経過しているが、旧町単位で管理体制が異なっている。また、教育委員会にも新規設置の要望が多数あると思うが、経費的に要望数を満たせる状況にはないと思う。環境対策に力を入れている志布志市としては、設置経費及び電気料の削減、維持管理に要する人的経費の削減を考慮したESCO事業への移行が必要と考えるが、以下の点について問う。</p> <p>① 現在の街路灯（防犯灯）の設置数と、管理状況を示せ。</p> <p>② 新規要望件数と、設置計画を示せ。</p> <p>③ 維持管理上の問題点及び電気料の推移状況を示せ。</p> <p>④ 本事業を導入する自治体が増加しているが、本市での導入についての見解を示せ。</p>	市 長 教育委員長
7 八代 誠	1 防災行政について	<p>(1) 「津波避難対策緊急事業計画」について</p> <p>① 計画策定に伴う各種調査の結果について問う。</p> <p>② 現時点での進捗及び今後の計画について問う。</p> <p>(2) 緊急時の避難場所について</p> <p>① 避難場所の種別及び箇所数について問う。</p> <p>② 避難施設自体の耐震性や飲料水及び非常用物資備蓄、マンホールトイレ等の整備について問う。</p> <p>(3) 緊急時の応急仮設住宅候補地の在り方について</p> <p>① 市内小・中学校の校庭が候補地になっているが、候補地として適正と考えるのか問う。</p> <p>② 開田の里公園内の桜山を造成し、公園一帯を候補地として考えられないか問う。</p>	市 長 市 長 市 長
8 丸山 一	1 コアジサシの保護対策について	<p>(1) 12年ぶりに志布志湾へコアジサシが飛来して抱卵していたが、一部の心無い人たちがコロニーに入ったことによりいなくなってしまった。保護対策を徹底する必要があると思うが、市の考えについて問う。</p>	市 長
	2 公営住宅の跡地について	<p>(1) 市内の公営住宅撤去後の跡地は、放置され草が多く繁茂している。整備して子供たちの遊び場にする考えはないか問う。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月 定 例 会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 丸 山 一	3 農 業 を 取 り 巻 く 環 境 保 全 に つ い て	(1) 1990年代から、殺虫剤や農薬などに使用されているネオニコチノイド系農薬が全国的に普及しているが、欧州では2013年より3種類の農薬が使用禁止になっている。最近では、それらの農薬に代わる代替品を推奨する自治体もあるようだが、本市においても同様の対策は考えられないか問う。	市 長
9 市 ヶ 谷 孝	1 移 住 定 住 政 策 に つ い て	(1) 移住定住政策を効果的に推進するためには、本市における人口動態を世代ごとにしっかりと把握し、その分析結果をもって対応していくことが要諦になると思う。本市の取り組みは、現在どのように進捗しているのか問う。	市 長
		(2) 移住定住政策の一環として、様々な内容の奨学金制度を設けて、移住や将来の定住に繋げる自治体も出てきている。全国的に完全給付型や条件付き給付型の検討も行われる中、本市における奨学金制度の現状と、今後の在り方をどのように考えているか問う。	市 長 教 育 委 員 長
		(3) 本市における子育て世代の負担軽減施策は充実していると思われる。移住定住政策の一環として、今後の子育て環境の整備を図る場合、これまでの現行制度を深化させていく手法も当然継続しつつ、近隣自治体には無い独自性を内外へ発信していく考えはないか。	市 長
10 小 園 義 行	1 政 治 姿 勢 に つ い て	(1) 庁舎等在り方研究委員会の12月提言に向けた議論の進捗状況について問う。	市 長
		(2) 研究委員会の今後について、どのように考えているか。	市 長
	2 国 民 健 康 保 険 に つ い て	(1) 運営が県に移行することによる、県の国保税の試算は示されたのか。	市 長
	(2) 本市は、所得割、資産割、均等割、平等割の4方式で課税されているが、県の考えはどうか。	市 長	
	3 介 護 保 険 に つ い て	(1) 保険料を払いきれない低所得の高齢者に対するペナルティについて問う。また、これに該当する方の本市の現状について問う。	市 長
		(2) 低所得者に対する負担軽減をどう考えているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 12 月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 人口減少社会への向き合い方について	(1) 本市が取り組んでいる人口減少対策について、平成31年度までに掲げた目標値を達成できるのか、また、若年層の転出抑制とUターン促進戦略は効果的に機能しているのか問う。 (2) 現在、本市の子供たちが「高校生が残したくなる地域づくり」について主体的に話し合いを進めているが、そのような声を聞き、施策の参考にする考えはないか問う。	市 長 市 長 教育委員長
	2 農業振興について	(1) 本市が進めてきた農業政策が、どの程度効果的に機能し、農業者の所得に反映されてきたのか、効果と検証について問う。 (2) 農業生産工程管理 (GAP) 認証の取得について、本市の現状と今後の取り組み方について問う。	市 長 市 長
2 小野広嗣	1 2025年問題について	(1) 2025年には、これまで国を支えてきた団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、各種社会保障の給付を受ける側に回るため、医療、介護、福祉サービスへの需要が高まり、社会保障財政のバランスが崩れるとの指摘がある。本市ではこの問題についてどのように認識しているのか。 (2) 本市の「地域包括ケアシステム」の現状と今後の更なるシステム構築に向けて、どのように考えているのか。	市 長 市 長
	2 ヘルプカードの普及促進について	(1) 障がいや難病を抱えた人が必要な支援をあらかじめカードに記しておき、緊急時や災害時などの困った際に提示して周囲に伝える「ヘルプカード」を作成、配布する動きが全国の自治体で広がっているが、本市も取り組むべきではないか。	市 長
	3 教員の働き方改革について	(1) 文部科学省が発表した公立小中学校教員の勤務実態調査で、1か月の時間外勤務が月80時間を超える教諭が小学校で34%、中学校では58%もいるなど過酷な勤務実態が明らかになったが、本市の小中学校の教職員の勤務状況と負担軽減に向けた取り組みについて示せ。	市 長 教育委員長
3 八代 誠	1 政治姿勢について	(1) 今任期4年間の総括について問う。 (2) 6月定例議会において出馬表明されたが、次期市長選挙に向けての思いを問う。	市 長 市 長
	2 リサイクル・ごみ分別について	(1) 民間が経営・管理している戸建住宅や集合住宅における現状と、今後の対策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 12 月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 持留忠義	1 園芸振興について	(1) 本市のいちご栽培面積は、10年前と比較すると約5割程度に減少している。そこで、今後の対策について見解を問う。	市 長
		(2) いちごについて、ブランド産地としての指定は受けられないか問う。	市 長
	2 飼料稲 (WCS) の管理について	(1) 市内の飼料稲 (WCS) の作付面積について問う。	市 長
		(2) ここ数年、飼料稲 (WCS) については病害虫が発生し、近隣のほ場にも病気の転移が見られる。病害虫防止策とその指導体制はどのようになっているか問う。	市 長
3 鳥獣被害の軽減対策及び地域活性化について	(1) ここ3年間の市内の鳥獣別の被害状況について問う。	市 長	
	(2) 阿久根市では有害鳥獣捕獲事業補助金として、捕獲活動事業や活動犬見舞事業、イノシカ流通対策事業を実施しているが、本市でもこのような事業に取り組み、解体処理施設の設置を検討する考えはないか。	市 長	
4 茶業振興について		(1) お茶の価格については、依然として低迷が続いている。過去5年間の価格の推移について問う。	市 長
		(2) 茶業における活動火山周辺地域防災営農対策事業、産地パワーアップ事業の実績とその効果について問う。	市 長
		(3) 緑茶輸出のための残留農薬検査に係る支援や、国内外の販路拡大の現状について問う。	市 長
		(4) 市内では、大麦若葉栽培が拡大してきているが、市場価格の変動に備えた保険制度の活用について問う。	市 長
5 平野栄作	1 住宅政策について	(1) 有明地区では、児童数の減少対策及び地域活性化を図るため、民間活力を導入し、地域活性化住宅の建設に取り組んできたが、15年の期間到来により、用地が住宅建設者の所有地になることから以下の点について問う。 ① 本事業については、居住者に対するアンケート等が実施されているが、今後の事業の流れについて問う。 ② 本事業進展後の本市における定住策の推進をどのように進めていくのか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 12 月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 平野 栄作	2 消防災害支援隊の拡充について	(1) 市消防災害支援隊設置要綱は平成21年6月24日に施行されている。これまで八野地区において組織されているが、以下の点について問う。 ① これまでの出動実績について ② 他地区での組織化に向けた取り組み状況について ③ 隊員の枠が消防団員の退職者に限定されているが、消防職員や自衛隊OB等へも拡充する考えはないか。	市 長
6 丸山 一	1 松くい虫対策について	(1) 日南海岸国定公園内の飛砂防備保安林としての市有林や、隣接する民有地の松が大量に枯れ始めているが、現状の認識と対応策について問う。	市 長
	2 道路行政について	(1) 東九州自動車道の野井倉地区にーフインターが開設されるとのことだが、そこへ接続する飯山・通山1号線と一丁田・宇都鼻線の交通量増加が懸念される。これらの路線の利便性向上と市民の安全性確保のための整備が急務であると考えるが、今後の対応策について問う。	市 長
7 鶴迫 京子	1 公共施設の整備について	(1) 安楽、志布志、香月地区の公民館は条例公民館であるが、他の公民館との違いについて問う。 (2) 安楽地区公民館の年間行事と、生涯学習課が所管する講座等を含めた利活用の状況について問う。 (3) 26～28年度までの3年間の利用者実績数と、今後の利用見込みについて問う。 (4) 公民館を利用される方の、駐車場に対する認識の把握について問う。 (5) 駐車場として、安楽分団消防詰所跡地、隣接する民有地やJAそお鹿児島安楽事業所跡地などの利活用は考えられないか。 (6) 公共施設の設置の在り方として、公平性を保つためにも、公衆トイレと駐車場を完備した公園の設置が望ましいと思うが、その考え方について問う。	教育委員長 教育委員長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 12 月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 鶴迫京子	2 交通行政について	(1) 志布志小学校周辺地域の「ゾーン30」実施について、平成28年6月に一般質問したが、その後の進捗状況を問う。	市 長 教育委員長
		(2) 志布志高校に通う市内生徒に限り、バス代を補助しているが、定期代の負担の大きさが近隣市町からの通学のネックになっている。地域活性化とともに大隅半島の教育振興を図るという大きな視点での生徒確保策として、市外生徒への補助は考えられないか。	市 長 教育委員長
		(3) 香月地区公民館の利用者による駐車場内での事故が発生している。事故発生後の防止策はとられているのか問う。	市 長 教育委員長
8 小園義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会の議論と結果について問う。 (2) 検討委員会を30年度に設置する、また選挙には明確な意思を持って臨むと以前答弁されているが、考えを問う。	市 長 市 長
	2 教育行政について	(1) 市報10月号に、教育委員会に対する外部評価委員会の評価が公表されている。生徒指導推進事業の評価と意見で「いじめや不登校問題はすべての児童生徒に起こり、いつどこで発生するか予見することは大変難しい」と評価され、意見として「不登校は家庭の要因が大きいと思われる」と述べている。このことに対する市長、教育委員長の見解を問う。	市 長 教育委員長
	3 職員の勤務の在り方について	(1) 本市のパワーハラスメントやセクシュアルハラスメント等に対する認識と現状を問う。	市 長
		(2) パワーハラスメントに関しては規程や規則が無いが、制定する考えはないか問う。	市 長
	4 農業政策について	(1) 米の直接支払交付金が来年度廃止になるが、その影響について問う。	市 長
(2) 来年度以降の対策について問う。		市 長	
5 商業振興について	(1) 店舗リフォーム助成制度について、来年度以降も継続するべきと思うが、今後の方針について問う。	市 長	